

1 校訓

真摯 (Sincerity)、創造 (Creativity)、友愛 (Friendship)

2 学校教育目標

真摯 (Sincerity)、創造 (Creativity)、友愛 (Friendship)のもと、外国語教育・国際教育の推進と地域の教育力の活用を図りながら、教育活動全体をとおして、自ら学び、思考し、表現する力、思いやりのある豊かな心、健やかな体を持った「世界に羽ばたける人間」(グローバル人材)の育成を目指す。

3 平成31年(2019年)度の重点目標(抜粋)

〈5〉活気のある学校を創る課外活動(部活動)の充実。

①文武一貫。学習と部活動の相互作用をめざす。

②部活動参加の奨励。

4 本校の部活動の目標

(1) 本校の校訓及び学校教育目標に基づき、思いやりのある豊かな心と健やかな体を持った人材の育成を目指し行うものとする。

(2) 部活動に参加することにより、学習活動へも好影響を与える相互作用を目指し行うものとする。

(3) 部活動をとおして、生涯にわたり豊かな人生を送るための資質や能力を育成するとともに、より良い社会をつくる一員としての自覚をもたせることを目指し行うものとする。

5 本校の部活動の基本方針

(1) 適切な指導

①スポーツ医学や科学的な理論及び指導方法に基づき、合理的かつ効果的な活動を行うとともに、生徒個別の能力や技量に応じた適切な指導を行う。

②自主性・協調性・責任感及び連帯感を重視し、生徒自らが考えて活動できる指導を行う。

③部活動における望ましい人間関係や人権意識の醸成を図る。

④体罰・パワハラ・セクハラ等により生徒の人格や尊厳を不当に傷つける行為は絶対に行わない。

(2) 適切な活動時間

各部活動の特性に応じて、効果的かつ効率的な指導及び活動を行うため、毎月の活動計画を作成し、練習時間や休養日を明確に設定する。活動計画は生徒及び保護者に明示する。なお、練習時間や休養日の設定は「安全で充実した運動部活動のためのガイドライン」(千葉県教育庁教育振興部体育課 H30.6改訂)並びに「持続可能で充実した文化部活動のためのガイドライン」(千葉県教育委員会 H31.3)に準ずる。

(3) 事故防止

- ①活動場所の施設や設備・用具の日常的な安全点検を行う。
- ②生徒の心身の健康状態に常に気を配り、体調不良者や事故があった場合は適切かつ速やかな対応をとる。特に、熱中症や脳震盪、その他の怪我に係る知識をもち、その予防及び対応策等を身に付けておく。
- ③生徒に安全に係る知識や技能を身に付けさせ、自己及び仲間の安全を確保できるように指導する。

(4) 地域への貢献

地域との交流や地域への支援を積極的に行うことで、地域に貢献し、地域から愛される部活動となるよう努力する。